

2020年3月期 第3四半期 機関投資家・アナリスト向け電話会議（決算） 主な質疑応答

Q1 流通業について

営業利益「調整額」に計上されている(株)白鳩に係るのれんの追加償却（7億円）は、今期の業績予想に織り込まれているか。

- ・ 四半期末時点の株価下落に起因する会計処理であり、年度末時点の株価によって計上の有無が決まるため、業績予想の数値には織り込んでいない。

Q2 ホテル業について

来期は増益の計画だが、他社のホテルにおいて宿泊需要の低下が見られている環境下で、新規開業ホテルの来期の収益貢献の見通しに変更はあるか。

- ・ 来期は、今期新規開業したホテルが通期で収入に寄与するほか、新宿エリアのシティホテルもオリンピック期間を中心に好調に推移するものと見込んでおり、ホテル業全体で増益となる計画である。
- ・ 新規開業ホテルは個々の状況に差はあるものの概ね好調に推移しており、現時点では収益貢献の見通しに変更はない。

（参考：新規開業ホテルの出店状況）

	ホテル名	所在地	客室数	開業時期
1	HOTEL LOCUS	宮古島	100	2018年1月
2	HAMACHO HOTEL	日本橋	170	2019年2月
3	MUJI HOTEL GINZA	銀座	79	2019年4月
4	The rescape	宮古島	41	2019年5月
5	ONSEN RYOKAN 由縁新宿	新宿	193	2019年5月
6	箱根ゆとわ	箱根	72	2019年8月
7	HOTEL CLAD	御殿場	182	2019年12月
8	ホテルアンテルーム那覇	那覇	126	2020年2月予定
9	ホテルストレータ那覇	那覇	221	2020年4月予定
10	ONSEN RYOKAN 由縁札幌	北海道	182	2020年7月予定
11	温泉旅館[下北線路街]（名称未定）	東京下北沢	35	2020年9月予定

Q 3 ホテル業について

来期のオリンピック・パラリンピック期間中の予約状況について伺いたい。また、その予約状況は数値計画に含まれているか。

- ・ 新宿エリアのホテルで期間中の宿泊需要は高まっており、宿泊と宴会場利用がセットとなった大型案件を受注するなどの動きも見られている。
- ・ 来期の数値計画には需要増を織り込んでいるが、足元の状況を基に改めて精査し計画に反映していく。

Q 4 台風 19 号の影響について

決算説明資料から箱根エリアの第 4 四半期（1-3 月）の営業収益を算出すると対前年△10 億円となるが、箱根登山鉄道の 2020 年秋頃の運転再開まで同等の影響が出るのか。

- ・ 業績には運休以外の要素も影響してくるため、来期はオリンピック・パラリンピックなどの増加要因も含めて考える必要がある。
- ・ 引き続き、2020 年秋頃の運転再開を目指して復旧作業を進めるとともに、箱根エリアへの誘客施策を実施していく。

Q 5 台風 19 号の影響について

箱根エリアの営業収益について、第 3 四半期実績が対前年△26 億円であるのに対し、第 4 四半期見込みが対前年△10 億と減収幅が小さくなる理由は。

また、箱根登山鉄道一部区間運休による箱根エリアの入込客数への影響は。

- ・ 第 3 四半期実績の対前年の減収額には、箱根大涌谷周辺の噴火警戒レベル引き上げによる箱根ロープウェイの運休（5 月 19 日～10 月 26 日）の影響も含まれている。
- ・ 箱根フリーパスの売上枚数は第 3 四半期実績対前年△35.4%となったが、I C カードや乗車券で箱根湯本駅から芦ノ湖方面への直行バスを利用するなど、運休エリアを避けたルートで周遊されているお客さまも見受けられる。

以 上

※ 本資料については、質疑応答の内容をそのまま書き起こしたのではなく、加筆・修正等を加え、当社がまとめたものであることをご了承ください。